

○源義経（1159－89）

鎌倉初期の武士。父は源頼朝。母は常盤御前。幼名は牛若丸。

平治の乱での頼朝の敗死後、捕らえられて京都の鞍馬寺にあずけられる。成長後同寺を脱出し、みずから元服して奥州平泉の藤原秀衡の庇護をうける。

治承4年（1180年）兄頼朝の挙兵にかけつけ、すぐれた戦略で平家追討に活躍した。

後年、後白河法皇の策謀で頼朝と対立し、畿内一帯に潜伏した後、奥州平泉に逃れた。

このとき、鈴鹿関を通過したという説がある。

庇護者の藤原秀衡の死後、文治5年閏4月30日秀衡の子藤原泰衡に急襲され、衣川館で自殺した。

参考 講談社日本人名大辞典 講談社 2001年